

中学公民	個人の尊重と日本国憲法③	年 組 番	1問 5点
<b>人権と共生社会②</b> <b>これからの人権保障</b>		名前	/100

①	国民が政治に参加する権利	さんせいけん 参政権
②	満18歳以上の全ての国民に認められた、 国や都道府県、市町村などの代表者を選ぶ権利	せんきょけん 選挙権
③	選挙に立候補する権利	ひせんきょけん 被選挙権
④	国などに要望をする権利	せいがんけん 請願権
⑤	誰もが裁判所による裁判を受けられる権利	さいばん う けんり 裁判を受ける権利
⑥	国や地方の公務員の不法行為で受けた損害に対して、 賠償を求める権利	こくわいしやうせいぎゅうけん 国家賠償請求権
⑦	裁判の無罪判決に対し、国に保障を求める権利	けいじほしやうせいぎゅうけん 刑事補償請求権
⑧	社会全体の利益を意味する、人権の限界や制限	こうきやう ふくし 公共の福祉
⑨	日本国憲法が定める、「子どもに普通教育を受けさせる義務」・ 「勤労の義務」・「納税の義務」の三つ	こくみん ぎむ 国民の義務
⑩	住みやすい環境を求める権利	かんきやうけん 環境権
⑪	大規模な開発を行う場合に、事前に環境への影響を調査すること	かんきやう 環境アセスメント
⑫	人間が、自分の生き方や生活の仕方について自由に決定する権利	じ こ けつていけん 自己決定権
⑬	⑫のひとつで、医師が患者に診療の目的や内容を 十分に説明し、患者の同意を得ること	インフォームド・コンセント
⑭	国民が、国や地方の情報を手に入れる権利	し けんり 知る権利
⑮	国や地方が、人々の請求に応じて情報を開示する制度	じやうほうこうかいせいど 情報公開制度
⑯	私生活に関する情報を公開されない権利	プライバシーの権利
⑰	国や地方、民間の情報管理者に、 個人情報 を 厳重に管理することを義務付けた制度	こじんじやうほうほ ぎせいど 個人情報保護制度
⑱	1948年に国際連合で採択された、人権の尊重に関する宣言	せかいじんけんせんげん 世界人権宣言
⑲	1966年に国際連合で採択された、 ⑱に法的拘束力を持たせた条約	こくさいじんけんきやく 国際人権規約
⑳	国際的な人権保障を実現するため、 国境をこえて活動する非営利の民間組織	ひせいふそしき NGO(非政府組織)

中学公民	個人の尊重と日本国憲法③	年 組 番	1問 5点
<b>人権と共生社会②</b> <b>これからの人権保障</b>		名前	/100

①	参政权 参政权	国民が（ 政治 ）に参加する権利
②	選挙権 選挙権	満（ 18 ）歳以上の全ての国民に認められた、 国や都道府県、市町村などの代表者を選ぶ権利
③	被選挙権 被選挙権	選挙に（ 立候補 ）する権利
④	請願権 請願権	国などに（ 要望 ）をする権利
⑤	裁判を受ける権利 裁判を受ける権利	誰もが（ 裁判所 ）による裁判を受けられる権利
⑥	国家賠償請求権 国家賠償請求権	国や地方の（ 公務員 ）の不法行為で受けた損害に対して、 （ 賠償 ）を求める権利
⑦	刑事補償請求権 刑事補償請求権	裁判の（ 無罪 ）判決に対し、（ 国 ）に保障を求める権利
⑧	公共の福祉 公共の福祉	（ 社会 ）全体の（ 利益 ）を意味する、人権の限界や制限
⑨	国民の義務 国民の義務	日本国憲法が定める、「子どもに（ 普通教育 ）を受けさせる義務」・「（ 勤労 ）の義務」・「（ 納税 ）の義務」の三つ
⑩	環境権 環境権	住みやすい（ 環境 ）を求める権利
⑪	環境アセスメント 環境アセスメント	大規模な（ 開発 ）を行う場合に、 （ 事前 ）に環境への（ 影響 ）を調査すること
⑫	自己決定権 自己決定権	人間が、自分の生き方や生活の仕方について 自由に（ 決定 ）する権利
⑬	インフォームド・コンセント インフォームド・コンセント	自己決定権のひとつで、医師が患者に診療の目的や内容を 十分に（ 説明 ）し、患者の（ 同意 ）を得ること
⑭	知る権利 知る権利	国民が、国や地方の（ 情報 ）を手に入れる権利
⑮	情報公開制度 情報公開制度	国や地方が、人々の請求に応じて （ 情報 ）を（ 開示 ）する制度
⑯	プライバシーの権利 プライバシーの権利	（ 私生活 ）に関する情報を（ 公開 ）されない権利
⑰	個人情報保護制度 個人情報保護制度	国や地方、民間の情報管理者に、 （ 個人情報 ）を厳重に管理することを義務付けた制度
⑱	世界人権宣言 世界人権宣言	1948年に（ 国際連合 ）で採択された、 （ 人権 ）の尊重に関する宣言
⑲	国際人権規約 国際人権規約	1966年に（ 国際連合 ）で採択された、 世界人権宣言に（ 法的拘束力 ）を持たせた条約
⑳	NGO(非政府組織) NGO(非政府組織)	国際的な人権保障を実現するため、 （ 国境 ）をこえて活動する（ 非営利 ）の民間組織

中学公民	個人の尊重と日本国憲法③	年 組 番	1問 5点
人権と共生社会② これからの人権保障		名前	/100

①	参政权 さんせいけん	国民が政治に参加する権利
②	選挙権 せんきょけん	満18歳以上の全ての国民に認められた、 国や都道府県、市町村などの代表者を選ぶ権利
③	被選挙権 ひせんきょけん	選挙に立候補する権利
④	請願権 せいがんけん	国などに要望をする権利
⑤	裁判を受ける権利 さいばん うける けんり	誰もが裁判所による裁判を受けられる権利
⑥	国家賠償請求権 こっかばいしょうせいきゅうけん	国や地方の公務員の不法行為で受けた損害に対して、 賠償を求める権利
⑦	刑事補償請求権 けいじほしょうきゅうけん	裁判の無罪判決に対し、国に保障を求める権利
⑧	公共の福祉 こうきょう ふくし	社会全体の利益を意味する、人権の限界や制限
⑨	国民の義務 こくみん ぎむ	日本国憲法が定める、「子どもに普通教育を受けさせる義務」・ 「勤労の義務」・「納税の義務」の三つ
⑩	環境権 かんきょうけん	住みやすい環境を求める権利
⑪	環境アセスメント かんきょう	大規模な開発を行う場合に、事前に環境への影響を調査すること
⑫	自己決定権 じ こ けつていけん	人間が、自分の生き方や生活の仕方について自由に決定する権利
⑬	インフォームド・コンセント	自己決定権のひとつで、医師が患者に診療の目的や内容を 十分に説明し、患者の同意を得ること
⑭	知る権利 し けんり	国民が、国や地方の情報を手に入れる権利
⑮	情報公開制度 じょうほうこうかいせいど	国や地方が、人々の請求に応じて情報を開示する制度
⑯	プライバシーの権利 ぷらいバシーのけんり	私生活に関する情報を公開されない権利
⑰	個人情報保護制度 こじんじょうほうほごせいど	国や地方、民間の情報管理者に、 個人情報を厳重に管理することを義務付けた制度
⑱	世界人権宣言 せかいじんけんせんげん	1948年に国際連合で採択された、人権の尊重に関する宣言
⑲	国際人権規約 こくさいじんけんぎやく	1966年に国際連合で採択された、 世界人権宣言に法的拘束力を持たせた条約
⑳	NGO(非政府組織) ひせいふそしき	国際的な人権保障を実現するため、 国境をこえて活動する非営利の民間組織